



KEL
www.kel.jp

〒206-0025 東京都多摩市永山6-17-7
tel: 042-374-5800

「つなぐ」 ひるがる、 かなう。

Connecting makes
ideas come true.

ケルは1962年創業の産業用コネクタ専門メーカーです。

電子機器のキーパーツとして、

今では工業機器を始め医療機器や通信、

自動車に至るまで幅広い市場にご採用いただき、

その活躍の場を広げております。

コネクタを通して皆さまの理想やアイデアを実現へと「つなぎ」、

よりよい未来への夢を「かなえる」こと。

それが私たちの使命だと考えています。

■ 会社概要

商号
設立
資本金
事業目的

Company profile

ケル株式会社
1962年(昭和37年)7月23日
16億1,700万円
電気機械器具、精密機械器具、合成樹脂製品、化学製品、
各種金属工業製品および雑貨類の製造、売買ならびに輸出入、その他附帯業務

社会にひろがる KEL

お客様からの様々なご要望を「かなえる」ことで、
磨き上げられたケル製品。

今では工業機器・医療機器・自動車・通信など、
社会の中で大きな役割をはたす製品に
ご採用いただいています。

製品の性能を左右する「つなぐ」技術だからこそ、
時代に合った価値提供で、お客様の課題を解決に導く。
そんな、ケルのコネクト・ソリューションが、
これからも社会をより良くするための
ものづくりを支えてまいります。

5G・通信

- 通信インフラ
- 基地局
- ルーター

病院

- 超音波診断装置
- MRI
- 内視鏡

鉄道

- 新幹線
- 自動改札機

自動車

- カーナビ
- ADAS
(先進運転支援システム)

銀行

- ATM
- 監視カメラ

オフィス

- 複合機
- プロジェクター
- エレベーター

工場

- FA機器
- 半導体製造装置

他採用製品

- 業務用カメラ (TV撮影用、映画撮影用)
- 一眼レフカメラ
- ドローン
- 大型LEDディスプレイ

「かなえる」ものづくりで 今よりもっといいものを。

ケルでは「わくわく 楽しく 面白く」を大切に、コネクタの開発・製造をしています。

ヒアリングから企画設計、部品製造、組み立て、品質検査に至る、

お客様の手元に製品をお届けするまでの全工程を自社内で行える体制が整っています。

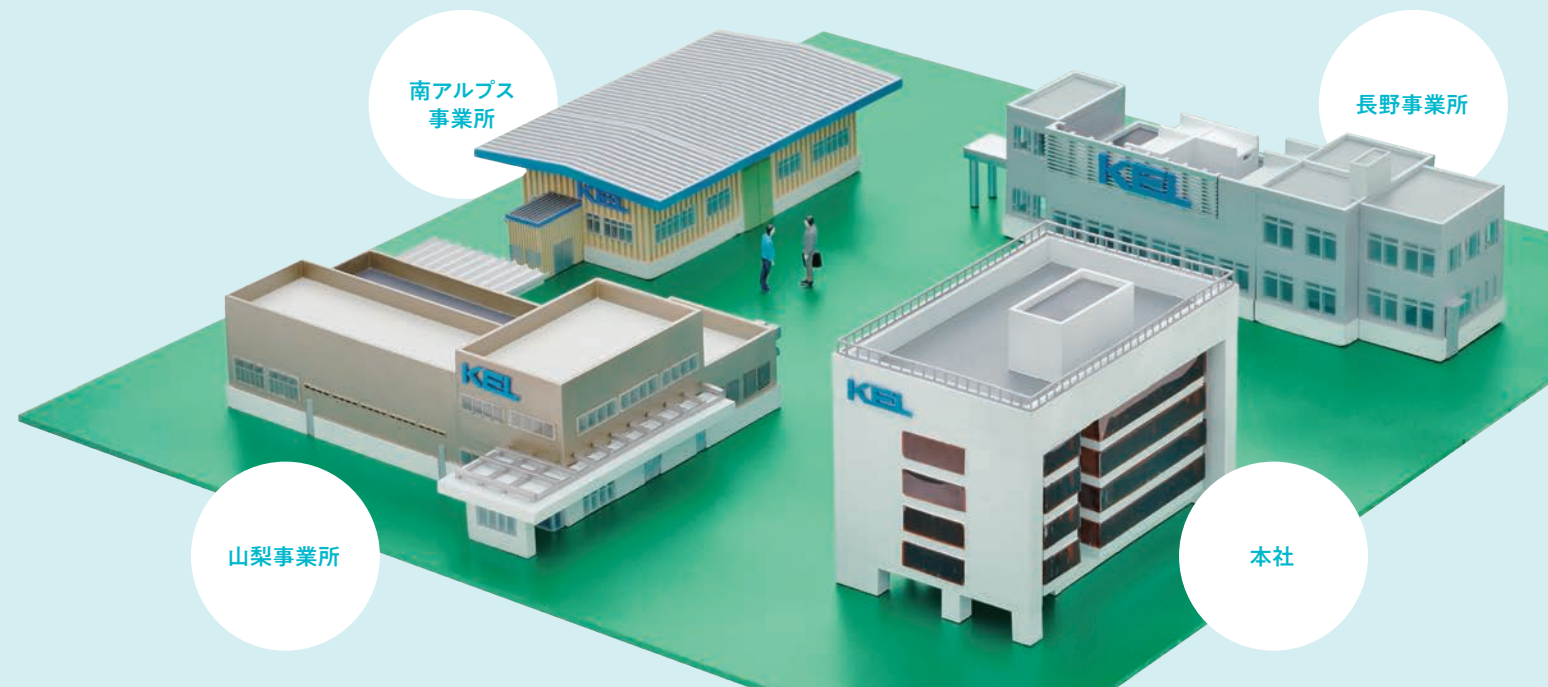
積極的な技術者同行による打ち合わせ、設計段階での品質保証部門チェックなど、

部門を横断した連携も活発です。

こうした環境のもと、お客様と丁寧に向き合い、課題解決につなげるものづくりを実現いたします。

コネクタができるまで

ヒアリングから製造まで部門の壁を超え、密に関わり合いながらものづくりが行われています。



めっきエリア



全自動組立ライン



検品エリア



環境試験センター

営業×技術

お客様のニーズをまとめ製造工程へ

お聞きした内容をもとに設計・サンプル製作を行い、ご意見をいただき調整と検証を重ねながら量産工程へとつなぎます。

ヒアリング

担当営業から、仕様やご予算、スケジュールについてお聞きします。最適なお提案につなげるため、「できるだけ小さく」「(お客様の)製品に組み込みやすく」など、どんな細部にわたるご要望もお気軽にお聞かせください。



設計・検証

本社・環境試験センターでは「ANSYS HFSS」「DASSAULT CST」を使用した電磁界解析、温度変化による変形を確認する熱衝撃試験、めっきの耐久性を確認するガス腐食試験により、製品性能を検証しています。また、量産に移る前には品質保証部門が仕様のチェックを行います。



サンプル製作

ご提案段階に合わせたサンプル製作が可能です。ヒアリング後は、お客様のイメージを3Dプリンタで形にします。

その後、ケルに開発を任せいただければ試作・量産段階においても金型を製作し、完成したサンプルの評価を行いながら製品開発を行います。



製品開発

各担当製品の開発を行うグループと、評価や試験設備管理を通して開発担当者のサポートを行うグループの2チーム体制。技術者の開発スキル向上のため、社内教育にも力を入れるなど、常に高品質な製品を生み出すことができる体制を整えています。



製造×品質保証

体制を整え量産 & 品質チェック

プレス&めっき (コンタクト)

プレス工程では、コイルに巻かれた薄板の銅合金を金型を用いてカット、曲げ、潰しなどの工程を経てコネクタのコンタクト部品へと加工します。その後、ケル独自のめっき設備・めっき治具を用いて必要なエリアに精度の高い金めっきを施します。

成形 (インシュレータ)

18t から 80t までの成形機を揃え、狭ピッチから大型のインシュレータまで生産が可能です。全電動機、ハイブリッド機を保有し電力の削減にも努めています。

組立

部材の供給から組立、検査、梱包までを最先端設備で行っています。

検査

組立設備の中に画像検査の装置を組み込むことにより、別工程とすることなく、品質の確保を実現しています。

出荷

生産した製品を国内外の物流倉庫に保管し、納期に合わせて出荷します。物流倉庫ではシステム的に管理を行い、正確かつ安全に製品をお届けできる体制を整えています。

納品



納品後に
ヒアリングを行い、
さらなる品質向上に
つなげています

ケルのチカラ

01 お客様の理想をカタチに かなえる提案力

営業のみならず、部門を超えた柔軟な連携により、
お客様の多様なご要望に寄り添ったご提案を行います。

部門を横断した柔軟な対応

営業・技術・製造・品質管理という部門を超えた密な連携により、効率的かつ迅速な対応を実現。サンプル製作や小ロット対応、カスタマイズ品、特注品へのニッチなご要望も取りこぼさず、お客様のお悩みと真摯に向き合います。どんな些細なご要望にも即座に対応できるものづくり体制を整えています。



知識豊富な営業との共創

ケルの営業部門は、技術部門が主催している講習会や、専門的な医学会への出席により、コネクタの専門知識はもちろん、お客様の製品についても熟知しています。そんな日々の情報収集で培われた確かなヒアリング力で、市場の声を逃さずキャッチ。常にお客様の立場でのご提案を目指し、共創による新製品開発を実現しています。



強みを掛け合わせたトータル提案

コネクタ事業に加えて、様々なケーブルを使用したハーネス事業、40年以上の実績があるラック事業といった3本柱で展開しています。また、お客様の製品やご要望に合わせて、各部門の強みを掛け合わせたトータル提案をすることで、新しく価値のある高付加価値製品を提供することが可能です。



ケルのチカラ

02 つなぐ技術で未来を支える ものづくり技術力

知識豊富な技術部門が企画段階から参画し、
お客様ニーズの一步先をゆく製品提案・研究開発を展開いたします。

上流工程から技術部門が参画

ケルの技術部門は、企画、設計・検証、サンプル製作、量産立ち上げといった、コネクタが出来上がるまでの全工程に関与し、お客様のニーズを超えたスペックの製品をお届けしています。また、お客様への訪問にも技術者が積極的に参加することにより、ニーズを正確にとらえ、うえてさらに先をゆく製品を提案し続けます。



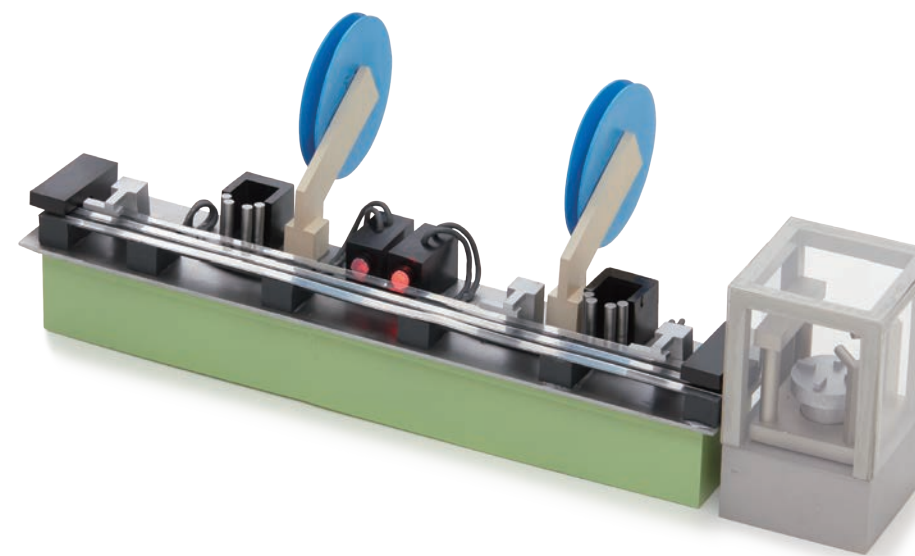
高機能化と小型化の追求

先鋭的なR & Dに経営資産を投じ、高機能化と小型化を追求。それにより、エレクトロニクス業界が求める最先端のコネクタ、そして日々移り変わる市場ニーズにいち早く対応しています。また、研究開発施設が本社内に置かれているため、営業部門から寄せられたお客様のニーズを、タイムリーに新製品開発へ応用できる環境が整っています。



海外市場での高いニーズ

ケルの技術は、今や海を超え、世界から注目されています。お客様のニーズを的確に反映したユーザーフレンドリーな設計や最先端の自動車開発にかかせないコネクタが、海外から高く評価いただいております。これからも独自の研究開発による技術力で、ワールドワイドに求められる製品を創出し続けていきます。



ケルのチカラ

03 確かな技術がなせる業 あんてい生産力

ケルの生産拠点において中心的役割を担う製造部門では、日々多様化するコネクタと真摯に向き合い、経験に裏付けられた技術で対応いたします。

ニーズに応える生産体制

ケルでは、柔軟な生産力が発揮される一貫生産により、品質を最優先しながら、お客様が望む開発・生産スケジュールに合わせたスピード感のある製品供給を実現しています。その際、生産マニュアルに基づいた組み立ての徹底や、経験に裏付けられた技術が、ケルの安定した生産体制を支えています。



多様化するコネクタへの対応

お客様の求める仕様や機能に柔軟に対応するため、汎用性を持った自動組立ラインを構え、特注品を含む多品種少量生産を可能にしています。さらに多品種の組立に対応できる人員のスキル向上にも注力し、組立が困難な製品に対しても優れた生産が可能な、ケル独自の技術力を蓄えています。



国内に構える生産拠点

山梨2拠点(生産組立、部品加工)、長野1拠点(生産組立)を構えているため、お客様の要求に対して、即座に、そして柔軟に対応が可能です。また、工程組立から製品出荷まで、他部門と密に連携することにより、高品質な製品の生産を可能としています。製造部門は、ケルの生産拠点において中心的役割を担い、あらゆるニーズに対応しています。



ケルのチカラ

04 揺るぎない信頼性を確保 あんじん品質力

徹底した品質管理により築き上げた揺るぎない信頼性は、ケル製品の質の良さにつながり、安心の品質を提供いたします。

妥協を排した厳格な品質管理体制

ケルが最も注力する製品の接続信頼性は、徹底した品質管理のもと実現しています。長年の経験で培った製品理解に基づく管理体制の構築、そして納品後の品質文書記録の保管に至るまでのトータルな品質管理システムを運用。そんな、全工程を通して真面目で真摯な姿勢が、ケルの「質実剛健な質の良さ」につながっています。



国際規格に基づく確かな品質保証

品質マネジメントシステムに関する国際規格 ISO9001、環境マネジメントシステムに関する国際規格 ISO14001、そして自動車産業における品質マネジメントシステムの国際標準規格 IATF16949の認証を取得。それらに基づく確かな品質保証活動を開発から出荷までの全工程で実施しており、特注品から大量生産品まで、すべての製品で最高の品質をお届けします。



お客様の声の可視化

各部門にて、数値化されたお客様との取引実績を共有し、内部プロセスを含めた課題抽出やその後の改善活動につなげています。品質状況だけでなく、納期厳守状況、コストの優位性などを総合的に評価していただくため、直接お客様とのやり取りがない部門でもダイレクトな情報として共有することで意識の醸成をはかり、さらなる安心の品質をお届けしています。



世界の様々なお客様と関わるグローバルなコネクタメーカーとして、
持続可能な社会の実現に向けた活動を行っています。

SUSTAINABLE VISION

ケル株式会社は、

「コネクタ技術で 豊かなサステナブル社会を 実現します」

経営ビジョンに「コネクタメーカーとして、世界に貢献できる企業になる」を掲げ、
環境、社会、ガバナンスに配慮しながら人々が豊かに便利にそして快適に暮らせるよう、
持続的な成長を通じてサステナブル社会を実現します。



ENVIRONMENT 環境への取り組み

マテリアリティ(重要課題)

資源循環や自然環境保全を含めた気候変動対策

取り組み内容

気候変動対策



資源循環/
自然環境保全



SOCIAL 社会・人材への取り組み

マテリアリティ(重要課題) 01 多様な人材がウェルビーイングで活躍できる組織づくり

取り組み内容

多様な人材の活躍／ウェルビーイング



マテリアリティ(重要課題) 02 社会課題解決に向けた事業活動

取り組み内容

地域の安心・安全



世界の暮らしを支える製品の開発・製造



GOVERNANCE 事業・組織への取り組み

マテリアリティ(重要課題) 品質安全、顧客満足向上を目指したガバナンス強化

取り組み内容

ガバナンス



ステークホルダーとの対話



沿革・ネットワーク

沿革

- | | |
|--|---|
| <p>1962 東京都渋谷区においてケル株式会社設立
基板用コネクタ・プリント基板の製造開始</p> <p>1964 日本で初めて十字結合コンタクトの金型を製作し
国産化をはかる</p> <p>1967 東京都品川区に工場・本社を統合移転
KEL RACK 開発</p> <p>1972 大阪営業所を開設</p> <p>1975 名古屋営業所を開設</p> <p>1976 ICコネクタを製品化</p> <p>1980 宇都宮営業所を開設</p> <p>1981 光コネクタを製品化</p> <p>1982 山梨事業所の操業を開始(現 南アルプス事業所)</p> <p>1984 ハーフピッチコネクタを製品化</p> <p>1987 東京都多摩市に本社移転</p> <p>1988 水戸営業所を開設</p> <p>1989 北米駐在員事務所を開設</p> <p>1990 株式会社頭公開(現 株式会社東京証券取引所 ス
タンドード市場)
山梨事業所(現 南アルプス事業所)に部品加工
ライン完成</p> <p>1992 長野事業所の操業を開始</p> <p>1994 バッテリーコネクタを製品化</p> | <p>1996 ISO9001を審査登録(認証取得)</p> <p>1998 極細同軸ケーブル用コネクタを製品化</p> <p>1999 カード用コネクタを製品化</p> <p>2002 ISO14001を審査登録(認証取得)
環境試験センターを建設、稼働</p> <p>2004 台湾に現地法人「旺昌電子股份有限公司」設立</p> <p>2005 フローティングコネクタを製品化</p> <p>2008 中国に現地法人「科陸電子貿易(上海)有限公
司」設立</p> <p>2009 圧着コネクタを製品化</p> <p>2010 マネジメントシステム永年登録賞を受賞</p> <p>2012 創立50周年</p> <p>2013 山梨事業所の操業を開始</p> <p>2015 ISO/TS16949(自動車産業向け品質マネジメント
システム・現 IATF16949)を審査登録(認証取得)</p> <p>2017 ドイツに現地法人「KEL Europe GmbH」を設立
香港に現地法人「科陸電子(香港)有限公司」を
設立
山梨事業所のクリーンエリア拡大</p> <p>2018 防水圧着コネクタを製品化</p> <p>2022 長野事業所にクリーンブース新設</p> |
|--|---|

ネットワーク

● 営業拠点

- 本社**
〒206-0025 東京都多摩市永山6-17-7
TEL: 042-374-5800 FAX: 042-374-5887
- 水戸営業所**
〒312-0052 茨城県ひたちなか市東石川3600-35
TEL: 029-274-9001 FAX: 029-274-9005
- 宇都宮営業所**
〒320-0811 栃木県宇都宮市大通り2-3-1
井門宇都宮ビル9F
TEL: 028-610-7271 FAX: 028-634-9151
- 名古屋営業所**
〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3-14-32
丸の内三丁目ビル7F
TEL: 052-209-8655 FAX: 052-203-8610
- 大阪営業所**
〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原4-3-12
新大阪明幸ビル9F
TEL: 06-6150-8111 FAX: 06-6150-8801

● 生産拠点

- 山梨事業所** **IATF認証取得**
〒409-3611 山梨県西八代郡市川三郷町大塚1-1
TEL: 055-225-5611 FAX: 055-225-5620
- 長野事業所**
〒399-8603 長野県北安曇郡池田町中糺1400-5
TEL: 0261-62-6511 FAX: 0261-62-6555
- 南アルプス事業所**
〒400-0415 山梨県南アルプス市宮沢454-1
TEL: 055-283-5121 FAX: 055-283-5120

● 海外駐在員事務所

- 北米駐在員事務所** KEL Connectors, Incorporated
830 Stewart Drive, #179, Sunnyvale, CA 94085-4513, U.S.A.
TEL: +1-408-720-9044 FAX: +1-408-720-1989

● 海外子会社

- 旺昌電子股份有限公司** KEL Taiwan Co., Ltd.
2F, Building A006 No.1 Weiwang St. Shulin Dist., New
Taipei City 238032, Taiwan
TEL: +886-2-8686-9200 FAX: +866-2-8686-6925
- 科陸電子貿易(上海)有限公司** KEL (Shanghai) Corporation
Room 1203, Zhaofeng Plaza, 1027 Changning Rd.,
Changning Dist., Shanghai 200050, P.R. China
TEL: +86-21-64400051 FAX: +86-21-64400053
- 科陸電子(香港)有限公司** KEL Electronics (Hong Kong) Limited
Room1805, 18/F, 1Hung To Road, Kowloon, Hong Kong
TEL: +852-35905813 FAX: +852-35909059
- KEL Europe GmbH**
Am Seestern 4, 40547 Düsseldorf, Germany
TEL: +49-211-542368-0

本社



山梨事業所



長野事業所



南アルプス事業所

